



The Heart of Industry

IWAKI

2020年3月期 第2四半期決算説明資料

2019年11月29日

株式会社イワキ

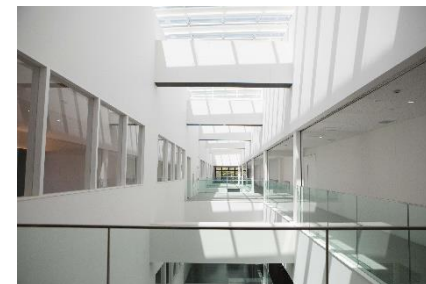
証券コード：6237
銘柄名：イワキポンプ

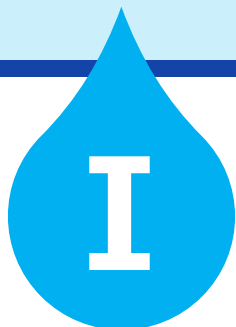
目 次

I. 2020年3月期 第2四半期決算概要	・・・P 3
II. 2020年3月期 業績見通し	・・・P12
III. 育成期 中期経営計画について	・・・P20

※本資料の略称

- I A : IWAKI America Inc. (米国子会社)
- I E : IWAKI Europe GmbH (欧州子会社)
- I J : 株式会社イワキ (日本)





2020年3月期 第2四半期決算概要

(百万円)

		2019/3期2Q 金額	2020/3期2Q	
			金額	前期比
高	売上	14,704	14,086	▲4.2%
益	総売上	5,135	4,846	▲5.6%
率)	(総売上益)	(34.9%)	(34.4%)	(▲0.5pt)
益	営業	1,209	1,041	▲13.9%
率)	(営業益)	(8.2%)	(7.4%)	(▲0.8pt)
益	経常	1,533	1,243	▲18.9%
る	親会社株主に帰属する	1,068	1,024	▲4.1%
り	四半期純利益	47.55	46.22	▲2.8%
た	1株当たり			
円)	四半期純利益 (円)			
ドル	為替レート	108.68	110.06	
ユーロ	(期中平均)	131.55	124.32	

1 売上高QonQは回復基調も、2Q累計は前年同期比で4.2%の減収

- ✓医療機器、水処理市場がけん引するも半導体・液晶、表面処理装置市場の落ち込みの影響で減収。
- ✓米国は2桁成長するも国内及び特にアジアが大きく落ち込み。

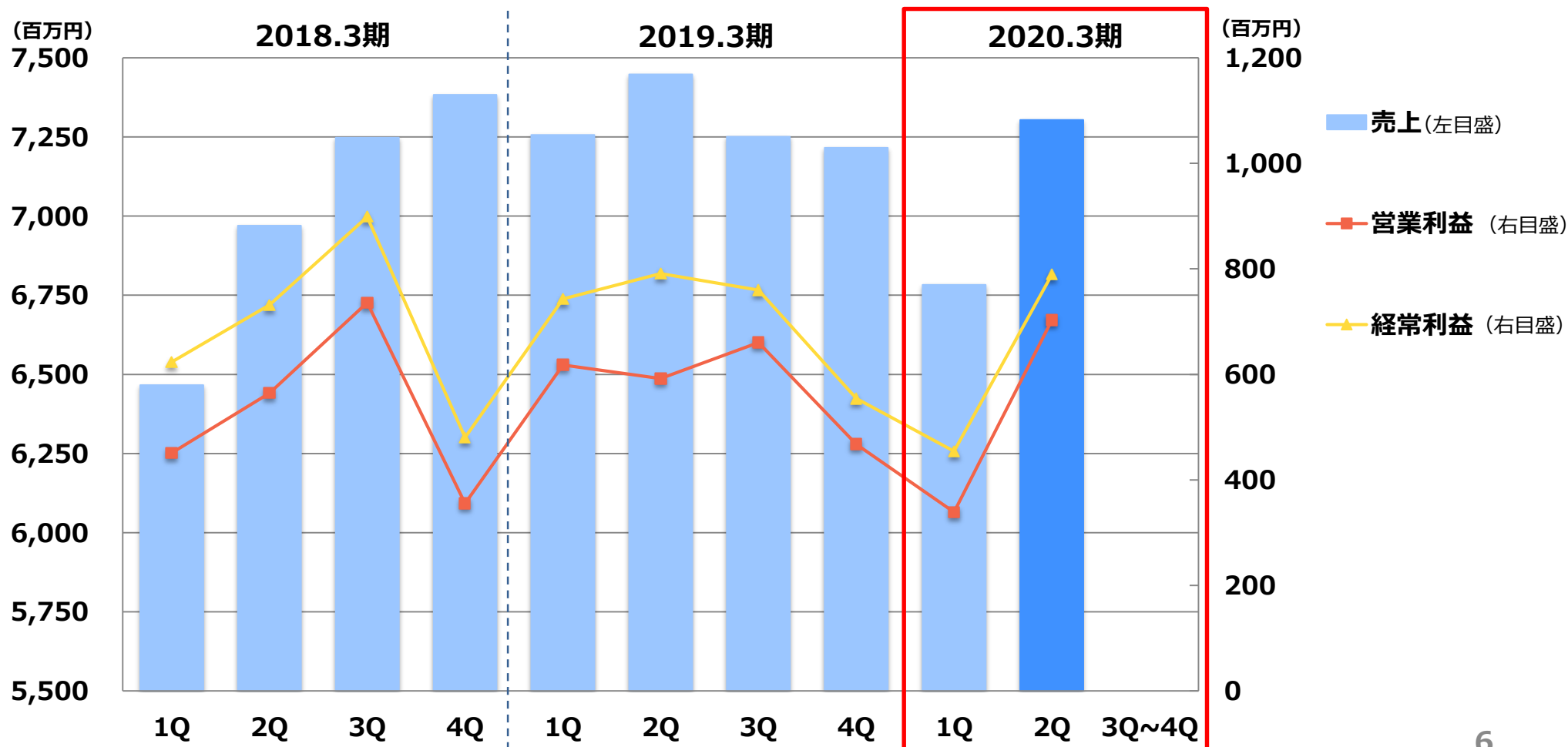
2 営業利益は前年同期比1割強の減少

- ✓コストダウンによる増益はあったものの、売上減少により減益。

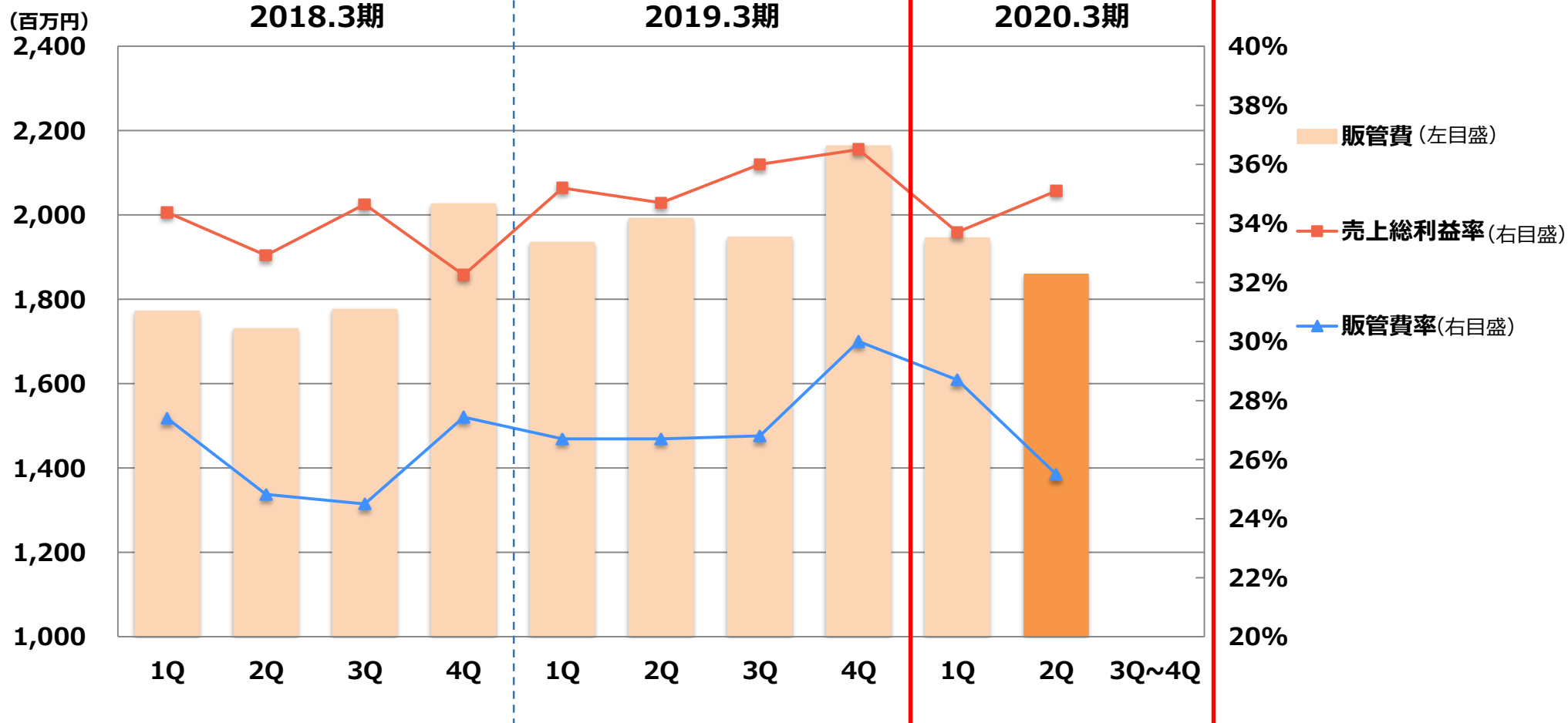
3 経常利益は悪化するも、最終利益は減益幅縮小

- ✓アジア中心に関係会社が低調で、持分法による投資利益が減少、経常利益は減益幅拡大（▲18.9%）。
- ✓投資有価証券売却益約1.5億、連結調整（今期2Q益調整）により、最終利益は減益幅が縮小（▲4.1%）。

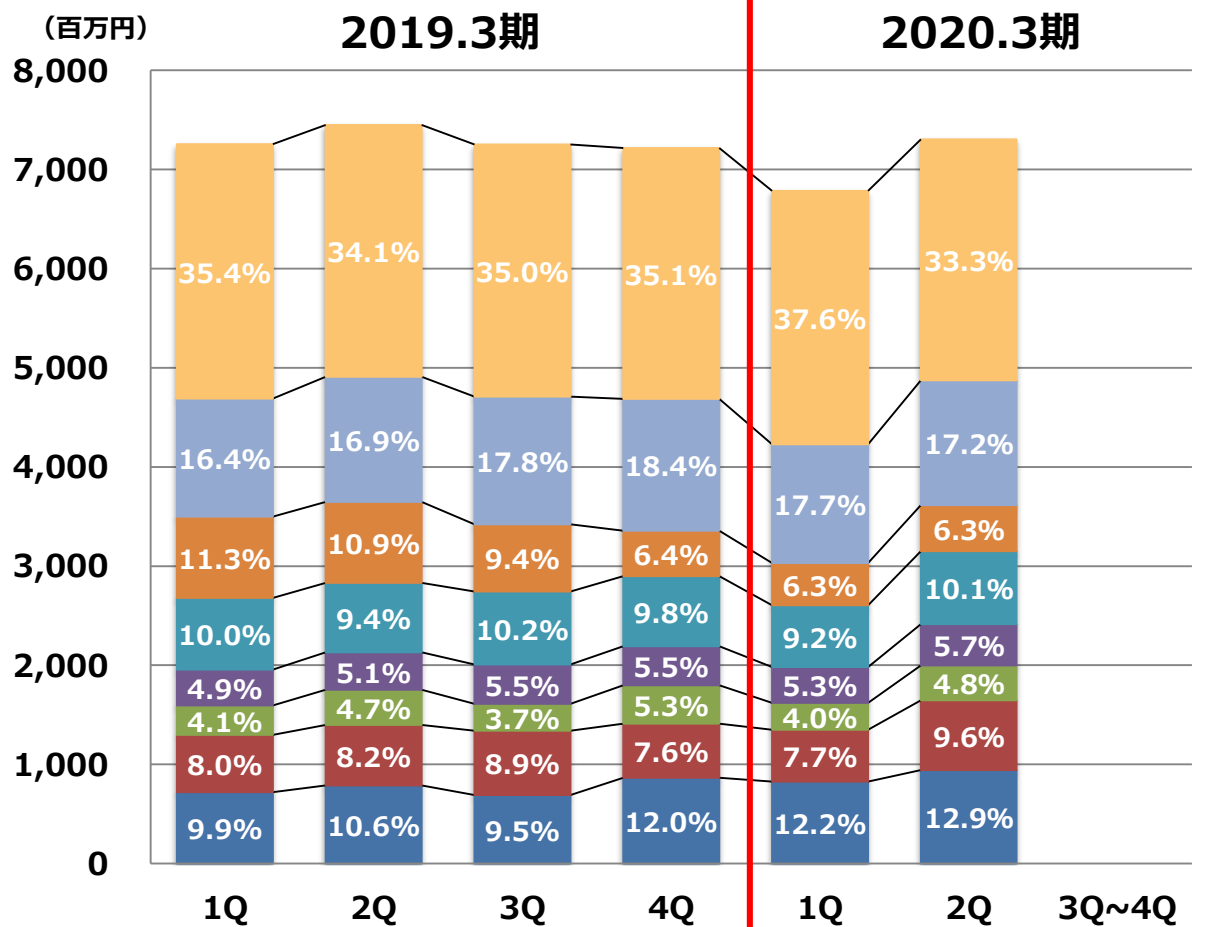
医療機器、水処理市場のけん引、コストダウンにより、
QonQでは段階利益が大きく改善



QonQでは増収効果で粗利率向上、加えて経費削減で 販管費率も改善

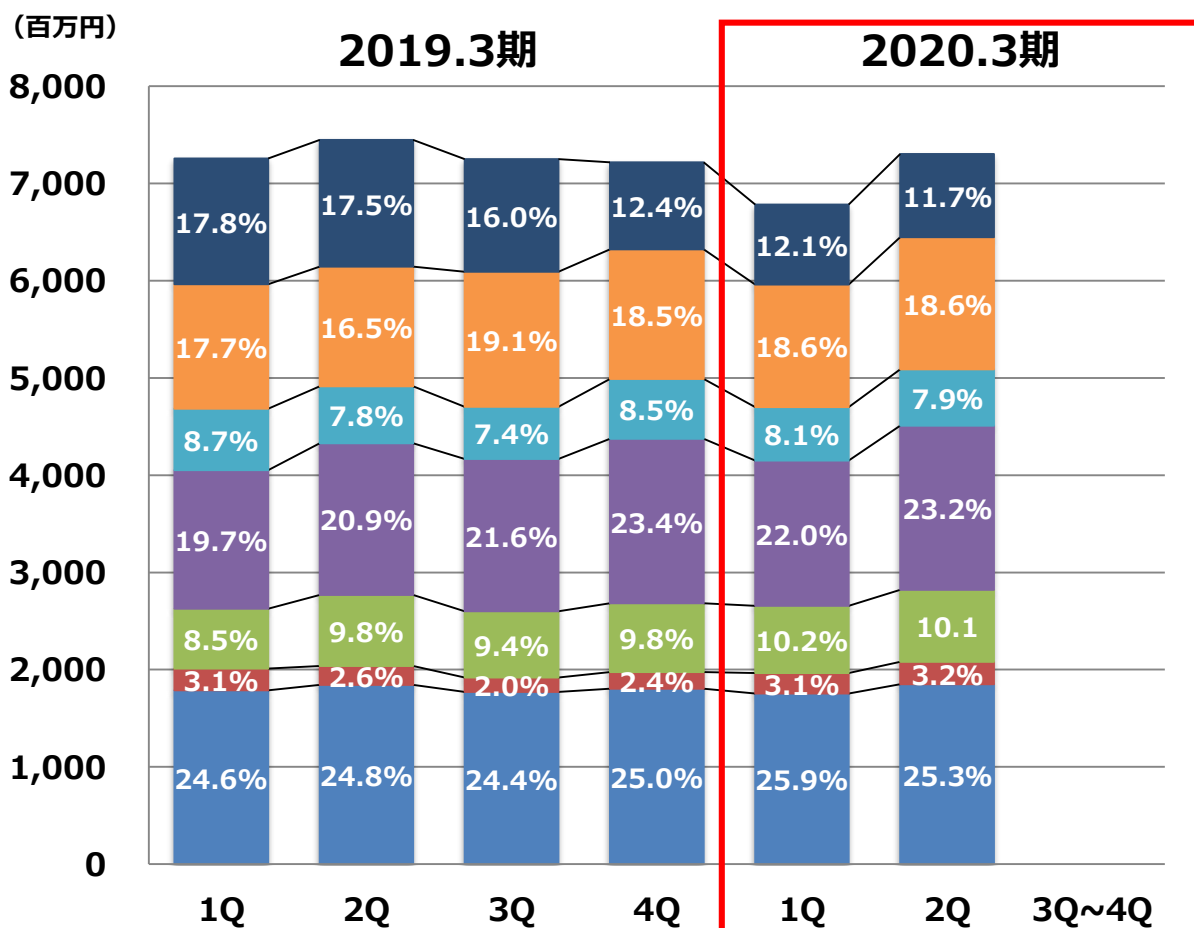


半導体・液晶向け空気駆動ポンプは不調、 定量ポンプは横バイ、エアーポンプは順調



	2020.3期 2Q合計金額 (百万円)	変化率 (前年同期比)
マグネットポンプ	4,985	▲2.4%
定量ポンプ	2,455	+0.2%
空気駆動ポンプ	889	▲45.7%
回転容積ポンプ	1,359	▲4.5%
エアーポンプ	777	+5.3%
システム製品	626	▲3.7%
仕入商品	1,224	+3.0%
その他	1,768	+17.2%

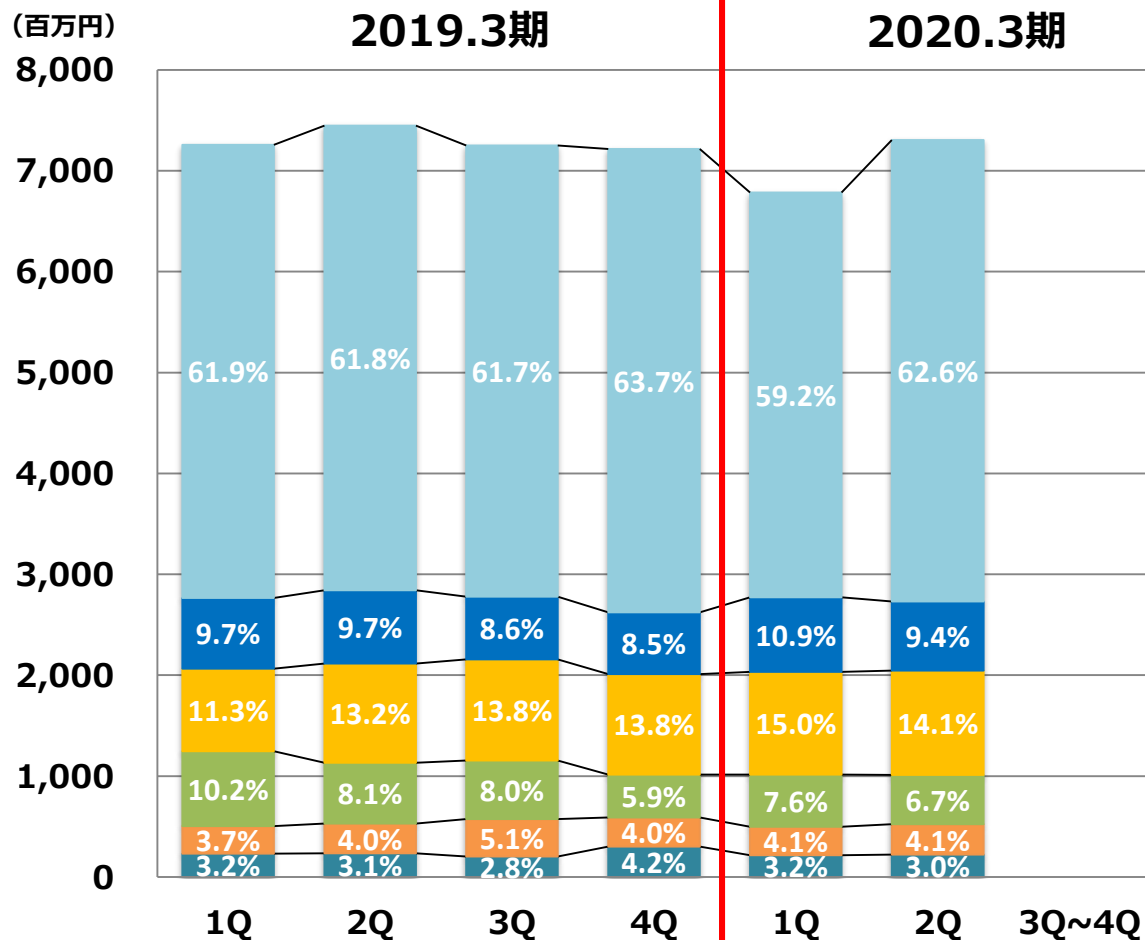
半導体・液晶市場は不調、表面処理装置市場は低調だが、 医療機器、水処理、化学 順調



2020.3期 2Q合計金額 変化率
(百万円) (前年同期比)

■ 半導体・液晶	1,681	▲35.3%
■ 医療機器	2,616	+4.2%
■ 表面処理装置	1,127	▲7.0%
■ 水処理	3,185	+6.7%
■ 化学	1,427	+5.8%
■ 新エネルギー	445	+6.8%
■ その他	3,602	▲0.8%

米国は引続き好調、中国も堅調



2020.3期 2Q合計金額 (百万円) 変化率 (前年同期比)

■ 日本 **8,586** **▲5.6%**

□ 海外計 **5,500** **▲1.9%**

■ ヨーロッパ **1,423** **▲0.3%**

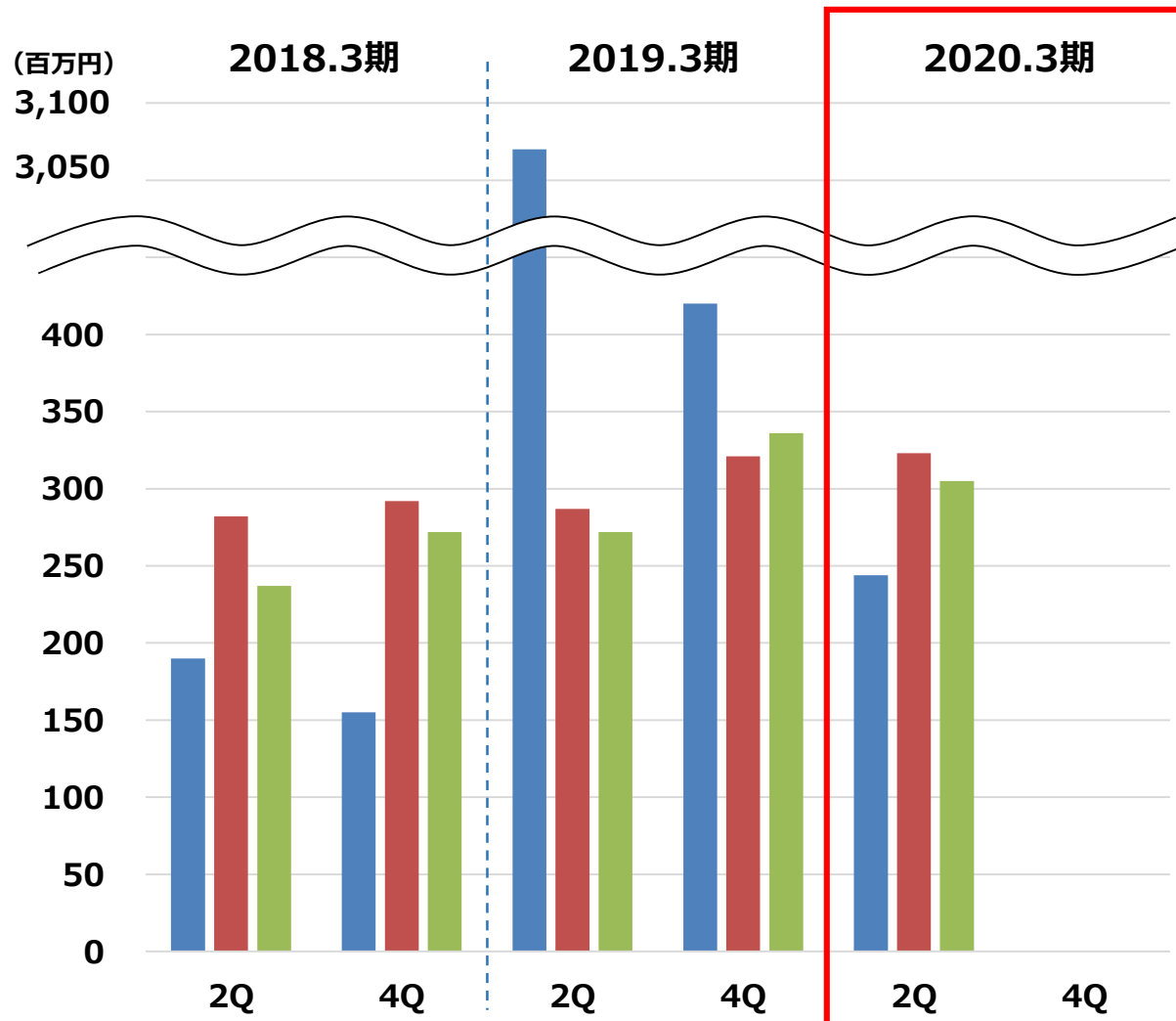
■ 米国 **2,050** **+13.7%**

■ アジア **1,004** **▲25.3%**

■ 中国 **583** **+2.9%**

■ その他 **437** **▲5.9%**

海外売上高比率 **39.0%**



2020.3期 2 Q合計金額 増減額
 (百万円) (前年同期比)

■ 設備投資 **244** ▲2,825

■ 研究開発費 **323** +35

■ 減価償却費 **305** +33

※ 2019.3期 2 Qの設備投資は、
 (新) 技術センター分28億
 62百万円が含まれています。

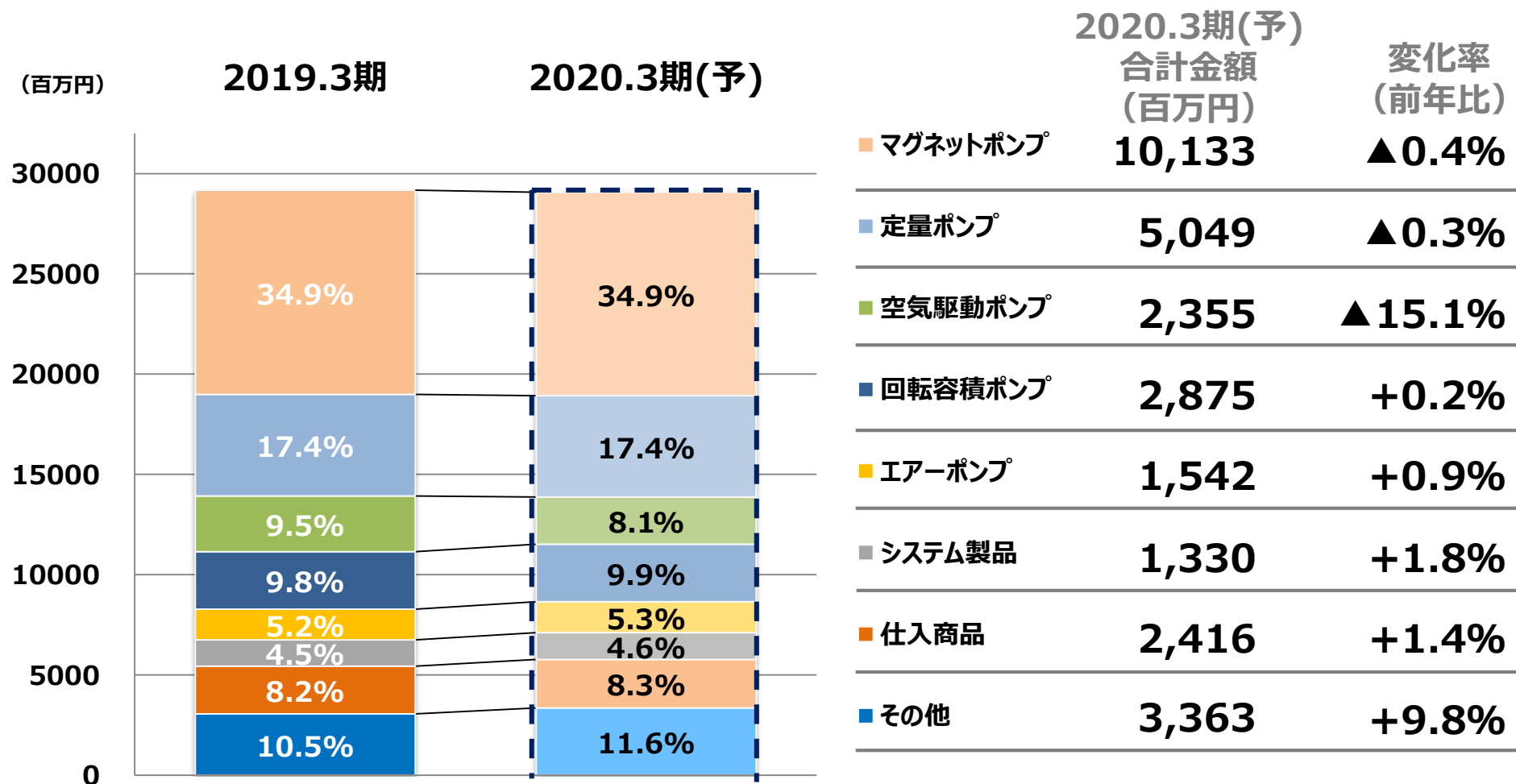


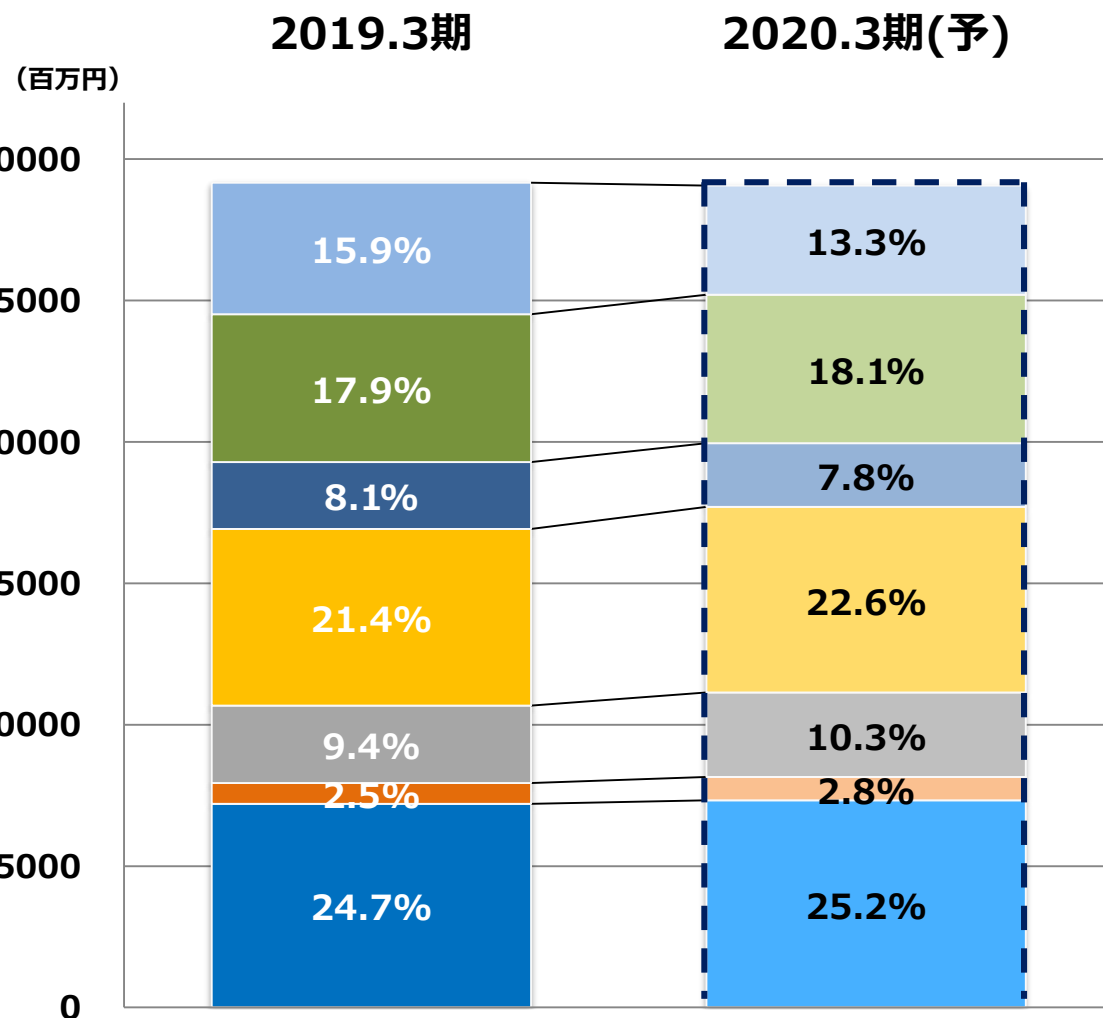
2020年3月期 業績見通し

(百万円)

		2019/3期 金額	2020/ 3 期（予）	
			金額	前期比
売上高		29,171	29,067	▲0.4%
売上総利益		10,374	10,066	▲3.0%
（売上総利益率）		（35.6%）	（34.6%）	（▲1.0pt）
営業利益		2,337	2,116	▲9.5%
（営業利益率）		（8.0%）	（7.3%）	（▲0.7pt）
経常利益		2,847	2,551	▲10.4%
親会社株主に帰属する当期純利益		2,163	1,977	▲8.6%
1株当たり当期純利益（円）		96.25	89.49	▲7.0%
為替レート （期中平均）	ドル	110.45	※107.00	
	ユーロ	130.35	※119.00	

※下期予算レート 13





	2020.3期(予) 合計金額 (百万円)	変化率 (前年比)
■ 半導体・液晶	3,854	▲17.1%
■ 医療機器	5,249	+0.3%
■ 表面処理装置	2,258	▲4.5%
■ 水処理	6,567	+5.2%
■ 化学	2,987	+9.1%
■ 新エネルギー	827	+12.5%
■ その他	7,322	+1.6%

1

売上高は前年比若干のマイナス予想

- ✓水処理市場の順調な伸びを予想。化学市場も順調な見込み。
- ✓半導体・液晶市場は不調、関連する表面処理装置市場は低調な見込み。
- ✓下期は、半導体・液晶市場の回復を見込む。

2

減収の影響で売上総利益率は悪化。経費削減等により、売上総利益率に比べ営業利益率の前年比減幅は縮小

- ✓減収の影響で営業利益は前年比9.5%減少。
- ✓経費削減等により販管費率0.2pt改善。

3

経常利益以降の段階利益もマイナス

- ✓アジア中心（半導体・液晶及び表面処理装置関連）に関係会社からの持分法による投資利益減り、経常利益は2桁減益。
- ✓投資有価証券売却益あり、最終利益は減益幅縮小。

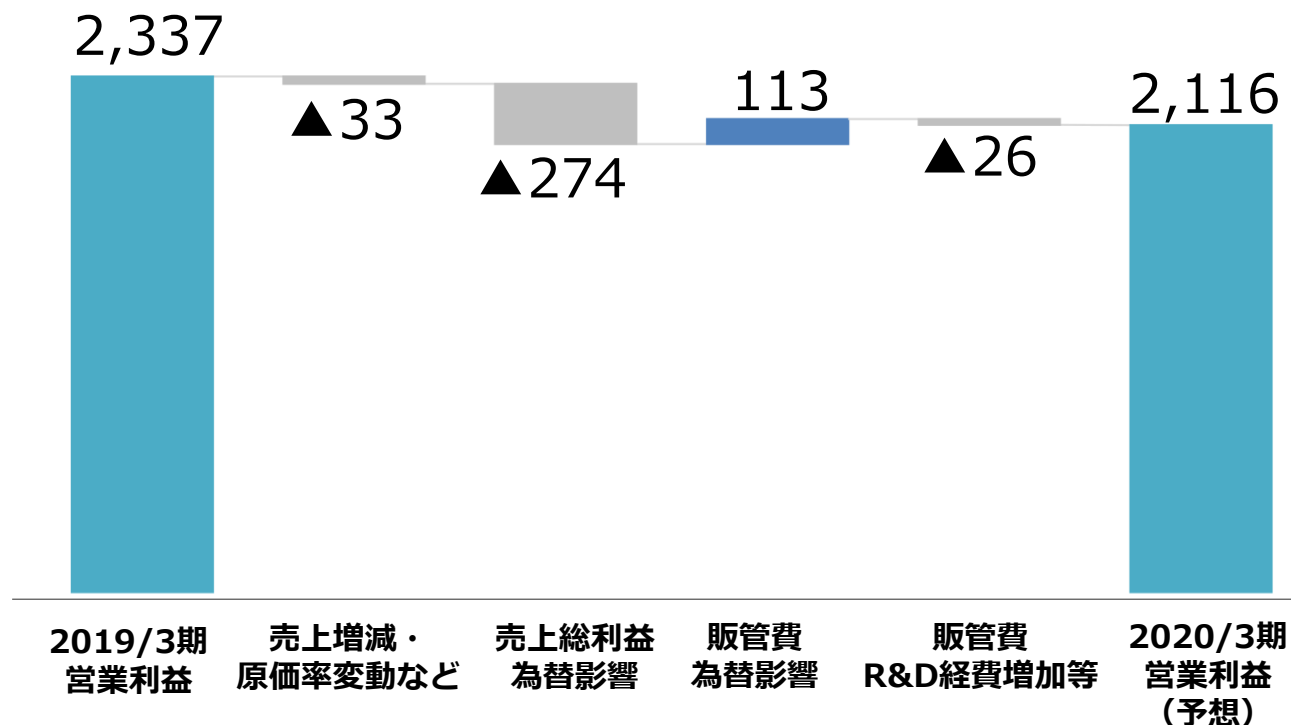
5 2020年3月期予想 増減益分析

(単位：千円)

為替1円当たりの感応度	\$ (USドル)	€ (ユーロ)
売上	25,318	9,977
営業利益	7,432	4,688

(下期のみ)

(百万円)



【市場環境の想定】

各市場	国内	海外
水処理市場	・食の安全面からイオン水製造、水耕、土耕装置が堅調 ・温浴施設が堅調 ・水処理プラントは官民共に横ばい	・バラスト水の水質管理が堅調 ・アジアの水質管理が好調
半導体・液晶市場	・アジアでの設備投資減少の影響が継続し、製造装置メーカー向けが軟調	・メモリに関して設備投資再開の兆しあり
医療機器市場	・臨床検査装置、内視鏡洗浄装置向けが堅調 ・人工透析装置が一部在庫調整により軟調	・中国向け生化学・免疫分析装置が堅調
新エネルギー市場	・二次電池市場が堅調 ・家庭用燃料電池が横ばいで推移	・中国・韓国の二次電池の設備投資が旺盛
化学市場	・高付加価値製品の開発、製薬会社の投資需要継続	・リチウムイオン電池関連部材が堅調
表面処理装置市場	・車載・IoT市場向けなど高付加価値電子部品の需要拡大 ・スマートフォン市場が軟調	・車載・通信用途で需要継続

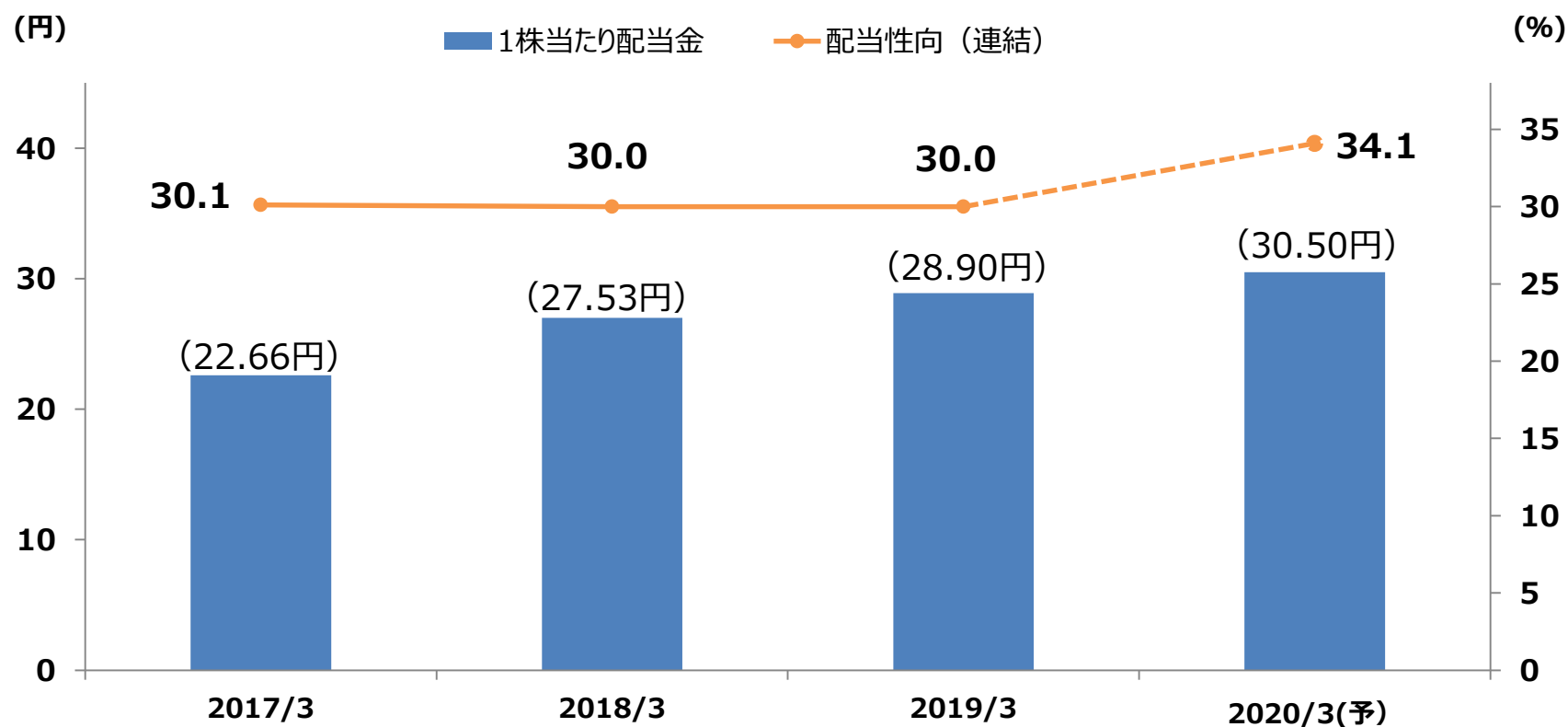
※ 各市場の太字は当社強化市場

※ オレンジ色はネガティブな見通し

基本方針

・配当性向30%超

・継続的な配当



(注) 2017/3及び、2018/3は株式の3分割を考慮し、算定しています。(小数点第三位以下は切捨)



育成期 中期経営計画について

2016/3期

17/3期

18/3期

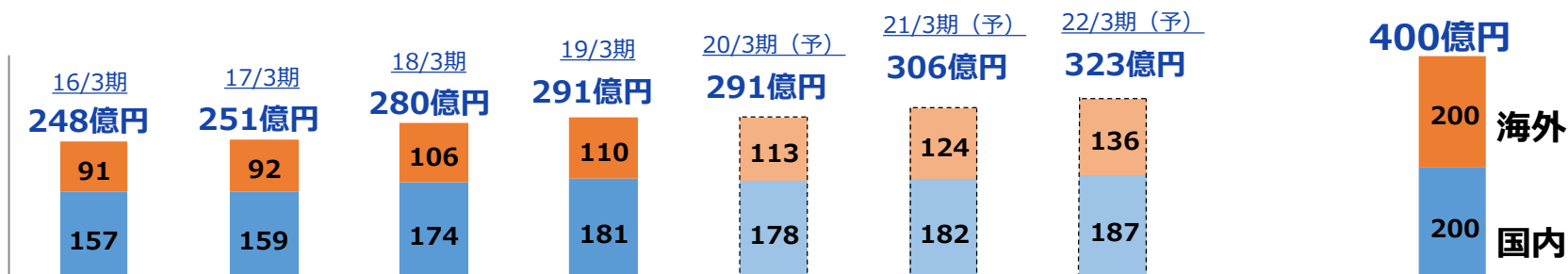
19/3期

2020/3期～2022/3期
育成期中期経営計画期間

2025/3期

定量目標

連結売上高



6.1% — 5.8% — 7.5% — 8.0% — 7.3% — 8.2% — 9.0% — 営業利益率 ➡ 10.0%

※オレンジ色は予想

定性目標

オールイワキで世界No.1を提供する

～ グループ一丸となり、世界No.1の製品、品質、価値、サービスを提供する ～

目標を達成するための姿勢「チェンジ&チャレンジ」

～ 変革と挑戦に躊躇しない企業文化の定着を目指す ～

今中期経営計画は、10年ビジョン達成に向けた育成期

重点テーマの設定

- 10年ビジョン定量目標を達成するための具体的各種施策の設定
 - 1) 生産体制の再構築 2) 生産及び販売計画の精度向上
 - 3) 不具合の撲滅 4) 全社の生産性向上
- 持続的な企業価値向上に視点を置いた経営の推進
 - 1) 人事制度の抜本的な見直し 2) 基幹システムの刷新
 - 3) IOTの活用 4) CSR活動

● 10年ビジョン達成に向けたステップ



国内営業	具体的計画の主な進捗状況		達成状況	今後の課題
	競合のSWOT分析を関連部門で共有化し、リプレイス		○	継続強化
	ソリューションビジネスの定着化のため、システム販売推進 メンテナンスとの協業に依り差別化推進		○	継続強化
	市場要求（納期）対応のため、短納期施策を実施		○	対応機種拡大
海外強化市場 （新規事業） 並びに	米国	水処理市場（飲料水・食品業界）の深耕 アクアティック事業※1の深耕及び、欧へのアプローチ	○	コントローラ販売チャネル強化 （欧・アジア・新興国市場）
	欧州	化学・化工機プラント市場の攻略	▲	全欧州にIEの販売戦略の浸透 水処理市場の競合対策
	アセアン	アセアン共通モデルの投入、統括本部設置と 域内物流コントロール拠点の構築～整備	×	販売地域の整備、販売体制の確立 強化市場を継続推進
	中国	医療機器市場を開拓	△	新エネルギー・水処理市場の販促強化
投資	IE生産設備、ERP※2導入の投資実施、中国生産委託会 社の開拓及び部材調達を拡大		△	IEの設備投資を継続。中国での 委託会社開拓と部材調達拡大を継続
	業務提携、ポンプ周辺事業のM&Aを推進		▲	継続して検討中

※1：小型魚類飼育水槽システム

※2：統合基幹業務管理システム

達成率

○：70%以上 △：70%未満～50%以上

▲：50%未満～20%以上 ×：20%未満

(百万円)

	2020/3期		2021/3期(中期計画)		2022/3期(中期計画)	
	予算	前年比		前年比		前年比
売上高	29,067	▲0.4%	30,593	+5.3%	32,305	+5.6%
売上総利益	10,066	▲3.0%	10,699	+6.3%	11,366	+6.2%
営業利益	2,116	▲9.5%	2,509	+18.6%	2,915	+16.2%
経常利益	2,551	▲10.4%	2,930	+14.9%	3,336	+13.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,977	▲8.6%	2,196	+11.1%	2,477	+12.8%

1 今期は、半導体・液晶市場向け投資延期の影響等で売上予算は前年比若干減少。
来期及び再来期ともに国内は3%弱の堅調な成長、海外は10%弱の順調な成長見込み。

2 今期は、粗利率34.6%、販管費率27.3%だが、来期及び再来期に向け、
粗利率0.2pt～0.4pt/年、販管費率0.5pt～0.6pt/年、改善の見込み。

3 海外持分法適用会社からの利益は、今期、来期、再来期共に横バイを想定。
来期、再来期は、増収効果等により営業利益以下の段階利益は2桁増を見込む。

基本方針 1

強化市場への経営資源の優先投入

- ・ 水処理市場 → ウォルケムコントローラとのシナジー
- ・ 医療機器市場 → 海外新規OEM・新製品
- ・ 新エネルギー市場 → 二次電池製造・大型蓄電池設備

基本方針 2

課題解決型ビジネスの展開

- ・ 顧客対応力の強化 → 短納期対応製品の増加
- ・ ソリューション事業
→ 実液シミュレーションテスト提案
- ・ IOTの有効活用 → 新ビジネスモデルの検討・構築

10年ビジョン達成**基本方針 3**

新規事業のビジネスモデル構築

- ・ アクアティック事業 → 欧州及び中国市場にアプローチ
継続して日・米市場の推進拡大
- ・ 技術/メンテナンスによる顧客サポートの推進
→ IJ技術者の販促サポート
現地に即したメンテナンス員の育成

基本方針 4

海外戦略地域の統括運営

- ・ アセアン地域プロジェクト → 継続推進
- ・ 各国・各地域のマーケットターの採用
- ・ ITインフラ整備 → 基幹システム見直しに伴う
ITインフラの最適化

1.国内市場

- 競合リプレイス需要の獲得
- ソリューションビジネスの継続深耕
- 顧客向けIOTの推進
- CS向上の継続
- 市場要求(製品、部品、納期等)対応



2.海外市場

国	海外各市場における強化市場	注力する具体的用途
米国	医療機器、水処理	医療分析、産業用水処理、アクアティック
欧州	水処理、化学・化工機、新エネルギー、冷却	システム製品、風力発電、船舶搭載装置
アセアン	医療機器、表面処理装置、水処理、化学	表面処理装置、水質管理
中国	医療機器、水処理、新エネルギー	医療分析、水処理プラント、二次電池
韓国・台湾地域	水処理、新エネルギー	水質管理、表面処理装置、二次電池

3.投資について

- 欧州子会社生産設備の強化、物流関連強化
- 事業の拡大に向けた業務提携、M&Aの検討

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社イワキ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2019年11月29日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

【お問合せ先】

E-mail : ir@iwakipumps.jp
TEL : 03-3254-2931
受付時間 : 9時～17時30分

(ご参考) 当社コーポレートサイトについて

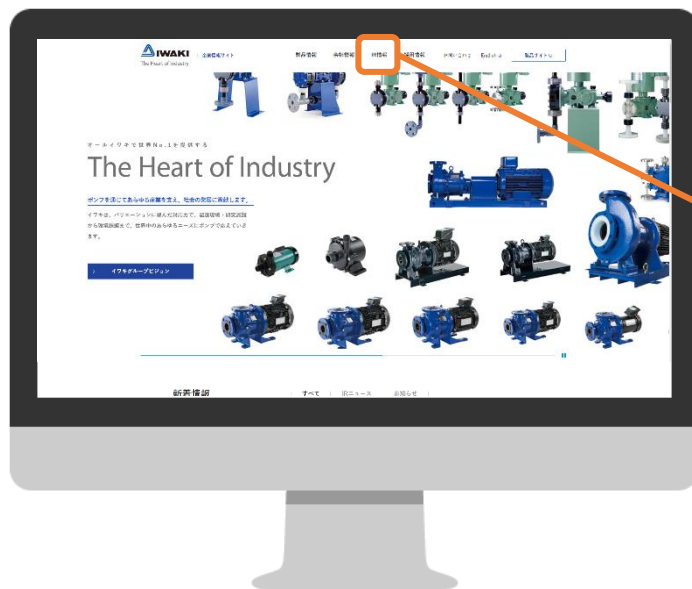
2019年10月1日に、新たにコーポレートサイトを開設致しました。

当サイトでは詳細なIR情報や財務情報など、株主・投資家様向けの情報はもちろんのこと、当社をより理解していただくための様々な情報を掲載しております。

また、従来ホームページ (<https://www.iwakupumps.jp/>) は「製品サイト」としてリニューアルしております。

<https://www.iwakupumps.co.jp>

当社HP
QRコード



IR情報